

# 紙芝居

坂戸市のごみ分別の方法やごみ収集処理、また、ごみの生まれ変わりが、どのように行われていくかの紙芝居。

## どうしてわけるの？

原案：坂戸市役所

脚本：あじさいの会

絵：井出 裕子





ある朝のことです。

ゴキ君：「あー忙しい 忙しい！」

ニワちゃん：「ゴキ君、おはよう。ゴミ出し？ 偉いわね！ところで、そのゴミ、ちゃんと分けたの？」

ゴキ君：「そんなのしていないよ。なんだって燃やせば燃えちゃうだろう？」

ニワちゃん：「ダメだよ。ちゃんと分けないと持っていってもらえないよ。」

《ね、みんな ゴミの出し方があるのしってる？そう、ゴキ君の間違ったところ分かるかな？》

《そうだね そして市役所でくれた分け方の書いてあるの見て出すんだよね。》

ゴキ君：「えー、そんなの知らなかったよ。ぼくやり直してくるよ。」



### 【市役所からもらったパンフレットをみながら】

ゴキ君：「どうしてレジの袋じゃダメなのかな？どれどれ、えーっと赤い袋にはと食べかすぽいっ。お菓子の空き箱は？ このセロハンは？」

「あーめんどうだなあ、時間ばかりかかってさ。こんなことしてたら車が来ちゃう。えーいめんどうだ。後の残りはみんな黄色の袋にぽっぽっぽいっと。」



## ブッパー

**ゴキ君**：「あー、おじさん待ってよう。ゴミ分けてたらゴミやさんの車行っちゃったじゃないか。」

**ゴキ君は大急ぎで車を追いかけてました。**

**ニワちゃん**：「ゴキ君 やればできるじゃない。あしたもまちがえないでねー。」

《ねえみんな、ゴキ君は本当に明日は大丈夫かなあ？》



## 次の日の朝です。

**ゴキ君**：「ニワちゃんおはよう。ぼく今日は自信あるんだよ。」

**ニワちゃん**：「ゴキ君おはよう。どれどれ見せて。だめじゃない。またごちゃ混ぜよ。」

**ゴキ君**：「そんなことはないよ。卵のパックでしょ。ペットボトルでしょ。壊れたおもちゃだよ。燃やせるゴミは入っていないよーだ。」

**ニワちゃん**：「それがごちゃ混ぜなの。」

**ゴキ君**：「ええー。せっかく一生懸命やったのにい。」



**ゴキ君**：「ぼくどうしたら言いかわかんないよ。」

**ニワちゃん**：「分けるには、こんなマーク を、見るといいのよ。」

《みんなはこんなマーク見たことある？》

(マークをゆびさしながら)

《なんでこんなの書いてあるのかなぁ？》

**ゴキ君**：「そんなのきょうみないもん。見たことないもん。いらなくなったものはみんなゴミじゃないか。なんだよ、ニワちゃんなんてしたかぶりでだいきらい。もうしらないと。」  
ゴキちゃんはすっかりやる気がなくなっちゃいました。



その夜のことで。

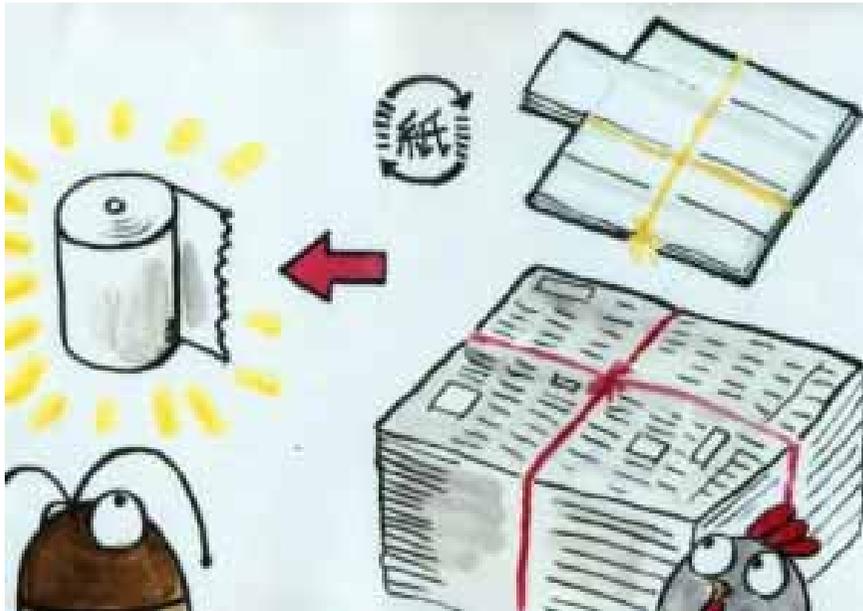
ガオー ガオー

ゴキ君はゴミ怪獣に踏みつけられそうになる夢をみました。

**ゴキ君**：「ひえー、誰かたすけてよー。ゴミ ゴミ、うーんうーん。」

次の日、目が覚めると思いました。

**ゴキ君**：「なんとかしなくちゃゴミでいっぱいになっちゃう。やっぱり、このままじゃいけないんだ。ニワちゃんにもっとゴミの話を聞きに行こう。」



**ゴキ君：**「ニワちゃん、ゴミはどうして分けて出すの？」

**ニワちゃん：**「ゴキ君えらい、ちゃんとやる気になったのね。ゴキ君、新聞紙や牛乳のパックは分けてだしているでしょ。それはね、古い紙がトイレトペーパーに変身するからなのよ。」

**ゴキ君：**「あー、なんだそうだったの古い紙からトイレトペーパーか、いつもお世話になってまーす。」

《それではみんな、ペットボトルは集められたらどうなるか知ってる？》

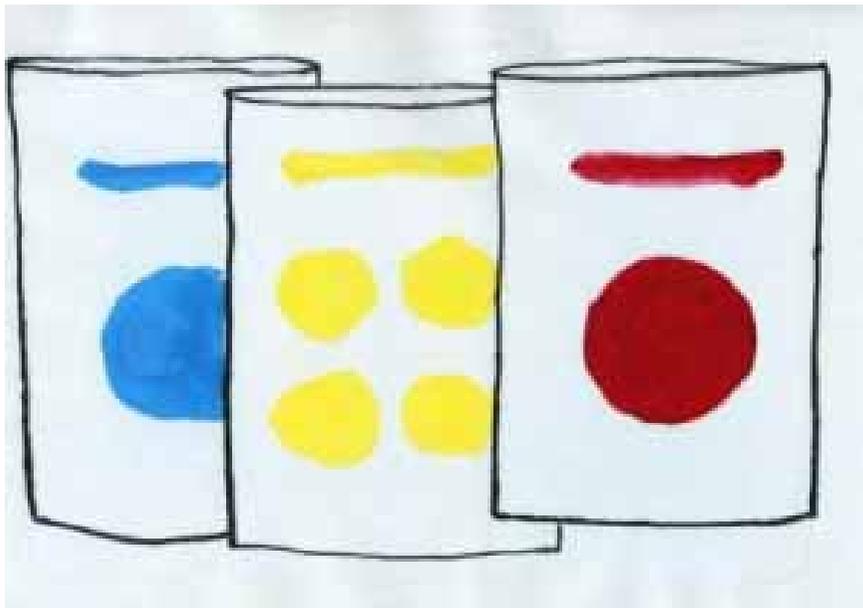


じゃーん

ペットボトルは、「制服」や「作業手袋」、「カーペット」や「毛布」なんかに変身します。

**ゴキ君：**「へー 知らなかったー」

**ニワちゃん：**「ペットボトルはすごいね」



《それじゃ 今度はみんなでちょっと分けてみようか》

(ここでゴミのサンプルを出して赤、青、黄色の袋にみんなに聞きながら分けてみる)

**赤色の袋**...生ゴミ

**黄色の袋**...シャンプーのボトル、卵のパック、缶、ビン、洋服

**青色の袋**...茶碗、バケツ、長靴、傘、

お菓子の箱、絵本...ひもで束ねて出す。

**ニワちゃん**：「ゴミにはいっぱい種類があるから、出し方も色々あるのよね。」

**ゴキ君**：「そうか、どうしてゴミは分けるのかが、段々分かってきたよ。」



そして残った燃やすゴミは...どうするでしょうか？

**おじいさん1**「うー 長生きして良かった。極楽ごらく。」

**おじいさん2**「わしの孫は、プールで遊んどるよ。」

**おじいさん1**「やっぱりゴミを燃やしたときの熱を利用したお風呂は最高だねえ」

**ゴキ君**：「おじいちゃん達気持ちよさそうだねえ。

ゴミが役に立つんだねえ。」

《みんなはどう思った？ ゴミはどうして分けるのか少しわかったかな？

お家の人にも聞いてみてね。

それからゴミを減らすこともみんなで工夫しようね。》